

平成 26 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

平成26年度事業報告書

概 況

平成26年度事業の実施に当たっては、前年度に引き続き、県民の健康づくりの中核として健康診査事業をはじめとする各種保健事業を効果的に推進した。

さらに、健康寿命の延伸が課題となっていることから普及啓発事業やがん対策事業等についても積極的に取り組みを行った。

また、本財団と県医師会の糖尿病対策の一元化を図り、新たに「糖尿病対策推進会議」を設置した。総体的には概ね所期の事業目的を達成することができた。

1 啓発普及事業

特定健診・特定保健指導受診促進のための広告及び各種がん検診の受診勧奨広告についても年齢層に合わせた媒体を選び、新聞広告の他に新たにラジオを媒体とした番組を放送し、さらにCMと情報メッセージを融合したインフォーマーシャル等の手法で受診率向上に努めた。

また、「24時間テレビチャリティブース」及び「元気にいがた健康フォーラム」に出展し、広く県民に対し乳がん病巣モデルによるセルフチェック体験、血管年齢測定等により生活習慣病に関する啓発を行った。

さらに、一般住民を対象に長岡市・三条市・村上市・津南町と共催で高血圧及び腎臓病並びに乳がん予防等に関する講演会を開催し、生活習慣病予防知識の普及に努めた。

2 研究研修事業等

検診体制の整備、検診精度の向上に寄与するため、検診従事職員に対する乳がん検診、胃がん検診の各セミナー及び細胞診研修会を開催した。また、新潟県がん検診研究会及び新潟県糖尿病対策推進会議主催による特別講演及びシンポジウムを行った。

さらに、検診機関の臨床検査技師、診療放射線技師等を対象とした検診従事職員研修会の開催に当たっては、参加施設の代表者が意見発表等を行う参加型の内容として、会員の積極性を促す研修となるよう努めた。

3 健康診査事業連絡調整事業

新潟県国民健康保険団体連合会から市町村国保及び県内3国保組合（医師国保、薬剤師国保、建築国保）の健診等実施に関する支援事業の委託を受けた。また、各種がん検診が健康増進法に基づいて実施されることになっており、市町村から検診に付随する業務の委託を受け、概ね当初の計画どおり事業を実施した。

4 健康情報管理事業

特定健診及び各種がん検診の健(検)診結果について統計分析を行い、全県、市町村別、検診機関別等の集計データを関係機関に還元し、各種健(検)診の精度管理に寄与した。

また、例年どおり市町村からの申込みに基づき、各種(胃・子宮・乳・肺)がん検診のデータ還元を実施した。

さらに、県下458健診実施機関の委託を受けて特定健診結果の電子化代行処理を実施し、特定健診結果の円滑な決済等に寄与した。

5 疫学調査事業

検診で発見された「がん」及び「がんの疑い」と判定された者について、精検医療機関の協力を得て、例年どおり調査を実施した。

また、追跡調査についても3年後及び5年後の生存状況等について、関係市町村の協力を得て例年どおり調査を実施し、疫学調査データの補完を行うとともに本県の検診精度の維持・向上に努めた。

6 がん登録事業

県の委託により、平成3年度から実施している「新潟県がん登録事業」については関係医療機関の協力を得て例年どおり情報収集事業等を行い、本県のがん対策の推進に寄与した。

なお、がん登録推進法の施行を踏まえ、今後の体制の在り方等について検討を行っている。

7 精度管理調査事業

検診実施機関の質の向上を図り精度の高い健(検)診を県民に提供するため、前年度に新潟県検診機関協議会会員施設を対象として精度管理実態調査を行った調査結果を基に改善事項等を通知した。

また、市町村に対しても調査結果の情報提供を行った。

8 脳卒中情報システム事業

県の委託により、市町村、医療機関からの情報提供を受けて集計・解析した報告書を作成した。併せて、関係者及び関係機関に対し情報のフィードバックを行った。

なお、前年度に引き続き本システム事業の活性化に向けた意見交換会を県、県医師会、新潟大学、市町村からの協力を得て3回開催し、とりまとめ結果を新潟県へ意見具申した。

9 連携事業

(公財)日本対がん協会との連携については、同協会の後援により第31回がん征圧新潟県大会を開催し、多数の参加者を得て成果を収めた。なお、がん征圧運動の全県的な展開に向けて、初めて新潟市以外の上越市で開催した。

また、日本対がん協会等関係団体主催の会議に出席する等により情報の収集に努めた。

〈 理事会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決を行った。

第12回 定例理事会

期 日： 平成26年6月20日(金)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成25年度事業報告について

原案どおり可決承認

第2号議案 平成25年度決算報告について

原案どおり可決承認

第3号議案 任期満了に伴う役員等の候補者選任について

原案どおり可決承認

第13回 臨時理事会

期 日： 平成26年6月24日(火)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 代表理事の選定について

原案どおり可決承認

第2号議案 業務執行理事の選定について

原案どおり可決承認

第3号議案 副理事長、専務理事及び常務理事の選定について

原案どおり可決承認

第14回 臨時理事会

期 日： 平成27年3月4日(水)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成27年度事業計画について

原案どおり可決承認

第2号議案 平成27年度収支予算について

原案どおり可決承認

第3号議案 定款の変更について

原案どおり可決承認

第4号議案 定時評議員会の開催日時及び場所の選定等について

原案どおり可決承認

第9回 定時評議員会

期 日： 平成26年6月24日(火)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成25年度事業報告について

原案どおり可決承認

第2号議案 平成25年度決算報告について

原案どおり可決承認

第3号議案 任期満了に伴う役員等の選任について

6月20日開催の第12回定例理事会において可決承認された理事候補者及び評議員候補者については、全会一致で可決承認された。

第10回 臨時評議員会

期 日： 平成27年3月13日(金)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議決事項：

第1号議案 平成27年度事業計画について

原案どおり可決承認

第2号議案 平成27年度収支予算について

原案どおり可決承認

第3号議案 定款の変更について

原案どおり可決承認

平成25年度事業・決算監査

期 日： 平成26年6月10日(火)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議 題：

(1) 平成25年度事業報告について

(2) 平成25年度決算報告について

[公益目的事業]

I 特定健診・特定保健指導支援事業

次のとおり実施した。

1 会議等の開催

(1) 健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する健診委員会(委員長 新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科教授 田邊直仁)を運営し、診療報酬の改定に伴う平成27年度特定健診料金(案)について協議した。

(2) 健康診査事業に関する合同打合せ会の開催(がん検診等受託事業と共同)

平成27年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者等を対象に県、県医師会、国保連の協力により、次のとおり開催した。

期 日： 平成27年1月21日(水)

場 所： 新潟市 新潟県自治会館

出席者数： 120人

2 講演会等の開催

(1) 講演会

慢性腎臓病等の生活習慣病に関する正しい知識の普及と「特定健診・特定保健指導」の受診勧奨を目的として次のとおり3市で開催した。

<慢性腎臓病(CKD)予防講演会>

期 日： 平成26年11月18日(火)

場 所： 三条東公民館

参加者： 140人

内 容： 特別講演「健康寿命を延ばすー腎臓にやさしい生活ー」

講師 新潟大学医歯学系 腎・膠原病内科(第二内科)

教授 成 田 一 衛

<生活習慣病予防講演会>

期 日： 平成26年11月30日(日)

場 所： 村上市教育情報センター

参加者： 85人

内 容：

ア 講演「村上市民の食事栄養摂取について

～村上健康コホート調査結果より～

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科環境予防医学分野

教授 中 村 和 利

イ 特別講演「健康寿命延伸を目指した生活習慣病予防」

<慢性腎臓病(CKD)予防講演会>

期 日： 平成27年2月28日(土)

場 所： アオーレ長岡

参加者： 271人

内 容：

ア 講演1 「早期発見がかん腎 CKD(慢性腎臓病)にご用心」

講師 長岡赤十字病院腎臓・膠原病内科部長 山崎 肇

イ 講演2 「CKDを放置するとどうなるの？」

講師 立川総合病院腎臓内科医長 青柳 竜治

ウ 講演3 「腎臓にやさしい暮らしの提案」

講師 長岡中央総合病院内科部長 高田 琢磨

(2) 特定健診集計データ活用のための統計利用方法研修会

市町村国保等の担当者を対象に、本財団作成の「特定健康診査等結果集計報告」を基に集計データの活用並びに医療保険者ごとの課題の把握等を行うことを目的とした研修会を次のとおり開催した。

期 日： 平成26年11月10日(月)

場 所： 長岡地域振興局大会議室

参加者： 29人

講 師： 新潟県健診保健指導支援協議会健診委員会委員長

(新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科教授) 田邊 直仁

3 糖尿病予防啓発用DVDの作成

県内の糖尿病専門医、管理栄養士等の協力のもと、特定健診の重要性及び糖尿病予防に関するDVDを作成し、健康教育用資材として市町村等に配付した。

II がん検診等受託事業

1 健康診査事業連絡調整事業

(1) 市町村健康診査等事務担当者研修会の開催

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律等、各法に基づく事業に新しく従事する事務担当者等を対象とした会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成26年5月30日(金)

場 所： 新潟市 技術士センタービル

出席者数： 57人

(2) 健康診査事業に関する合同打合せ会の開催 (特定健診・特定保健指導支援事業と共同)

(3) がん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診実施に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診を実施する上での問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

() 内は平成25年度実績

ア 胃がん検診

契約市町村数	30	(30)
受診者数	96,676人	(100,292人)

イ 子宮がん検診

車 検 診

契約市町村数	25	(25)
受診者数	28,309人	(30,341人)

施 設 検 診

契約市町村数	28	(28)
受診者数	24,111人	(27,199人)

体がん検診

契約市町村数	7	(8)
受診者数	775人	(1,796人)

ウ 肺がん検診

X線写真読影

契約市町村数	30	(30)
受診者数	223,097人	(223,980人)

喀 痰 検 査

契約市町村数	30	(30)
受診者数	7,449人	(8,149人)

エ 乳がん検診

集団(マンモ)

契約市町村数	29	(28)
受診者数	49,881人	(53,645人)

施設(マンモ)

契約市町村数	18	(19)
受診者数	12,181人	(13,868人)

施設(視触診)

契約市町村数	2	(2)
受診者数	2,017人	(1,695人)

オ 大腸がん検診

契約市町村数	29	(29)
受診者数	129,084人	(128,640人)

カ 肝炎ウイルス二次検診

契約市町村数	1	(1)
受診者数	49人	(52人)

キ 前立腺がん検診

契約市町村数	13	(13)
受診者数	7,513人	(7,221人)

2 がん登録事業

がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業として、県の委託により関係医療機関への資料の配付、がん登録票の收受などがん登録室及び協力医療機関と連携し事業を行った。

() 内は平成25年度実績

登録票受付件数	27,291件	(25,500件)
届出医療機関数	120医療機関	(132医療機関)

3 検診結果統計分析事業

下記に記載の各種がん検診の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。

・胃がん検診	96,676件
・子宮がん検診	52,420件
・肺がん検診 (胸部)	223,097件
・ 〃 (喀痰)	7,449件
・乳がん検診	64,079件
・大腸がん検診	129,084件
・前立腺がん検診	7,513件

4 がん検診データ還元事業

がん検診の検診結果情報処理として、希望市町村に対し個人の検診結果を電子化したものを還元した。

がん検診データ還元		() 内は平成25年度実績
・胃がん検診実施市町村数	6	(6)
・子宮がん検診実施市町村数	6	(6)
・乳がん検診実施市町村数	6	(6)
・肺がん検診実施市町村数	3	(3)

5 がん検診データ等一元化事業

県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握が不十分であり、健(検)診事業の全体把握ができない現状であることから、各種がん検診結果について県検診機関協議会の協力を得て、事業所検診等の任意型検診の結果を提供いただいた。

また、特定健診結果についても市町村国保、県内国保組合以外の被用者保険等の健診結果を含めて取りまとめるため、関係機関と検討を行った。

6 疫学調査事業

平成25年度の各種(胃・子宮・肺・乳・大腸)がん検診結果に基づき「がん」及び「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

また、平成23年度実施分の結果を取りまとめ「集検から発見された胃がん」「集検から発見された肺がん」として報告書を作成し、関係者に配付した。

さらに、疫学調査により報告された患者に対する追跡調査(平成21年度・平成23年度がん検診受診者)を実施した。

	(平成25年度分)	(平成21年度・平成23年度分)
	疫学調査	追跡調査
・胃がん検診実施件数	266件	365件
・子宮がん検診実施件数	202件	137件
・肺がん検診実施件数	319件	241件
・乳がん検診実施件数	178件	391件
・大腸がん検診実施件数	363件	559件

7 精度管理調査事業

伝統ある新潟県の健(検)診及び検診実施機関の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」を運営し、前年度行った県検診機関協議会会員施設を対象とした精度管理実態調査(立入調査)の調査結果をまとめ、調査対象施設に調査結果をフィードバックし、市町村に対しても調査結果の情報提供を行った。

新潟県検診精度管理調査委員会

委員長 秋山俊彦(臨床検査技師)

委員 9人

平成26年5月9日(金)新潟県検診精度管理調査委員会

7月18日(金)精度管理調査委員会作業部会

8 研究研修事業

(1) 新潟県がん検診研究会

新潟県がん検診研究会(会長 青山英史 新潟大学教授)の運営を支援した。

会員数 個人 24人 団体 88団体

平成26年8月5日(火) 運営委員会 新潟県医師会館

9月2日(火) 第1回理事会 //

平成27年2月16日(月) 第2回理事会 //

第26回新潟県がん検診研究会総会を次のとおり開催した。

期日： 平成26年12月24日(水)

場所： 新潟市 新潟県医師会館

参加者： 80人

内容：

ア シンポジウム「女性特有のがん検診について 5年間の施行を終えて」

演題1 「県におけるがん検診の現状と取組について」

新潟県福祉保健部健康対策課 副参事 笹川 弘 幸
保健師 笠井 悠 矢

演題2 「新潟市における女性特有のがん検診の5年間の取り組み」

新潟市健康増進課 がん予防係長 吉田 正 子
がん予防係主査 八木沢 真知子

演題3 「新発田市における

乳がん・子宮がん検診の取り組みと受診者の推移」

新発田市健康推進課 保健師 中村 幸 子

演題4 「企業のがん検診の取り組み」

パナソニック株式会社エコソリューションズ社
健康管理室 保健師 小坂 智恵子

座長： 新潟県労働衛生医学協会ブレスト検診センター所長

佐野 宗 明

新潟南病院産婦人科部長

児玉 省 二

イ 特別講演「今 子宮頸癌の撲滅に必要なこと」

講 師 : 新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学教授

榎 本 隆 之

座 長 : 新潟大学大学院医歯学総合研究科放射線医学教授

新潟県がん検診研究会長

青 山 英 史

(2) 新潟県糖尿病対策推進会議

糖尿病に関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、県医師会所管「新潟県糖尿病対策推進会議」及び本財団所管「新潟県糖尿病検診研究会」を一体化し、新組織として新潟県糖尿病対策推進会議(会長 渡部 透 新潟県医師会長)を設立し運営を支援した。

会 員 数	個人	28人	団体	70団体
平成26年 5月14日(水)	第1回理事会			新潟県医師会館
6月27日(金)	第1回普及啓発、調査研究部会			がん予防総合センター
10月1日(水)	第2回調査研究部会			新潟県医師会館
11月3日(月)	県民公開講演会「認知症と糖尿病」			ハイブ長岡
11月9日(日)	糖尿病ウォークラリー			デンカビッグスワン
11月21日(金)	第3回調査研究部会			新潟県医師会館
平成27年 1月23日(金)	第4回調査研究部会			〃
2月24日(火)	第2回理事会			〃

第1回新潟県糖尿病対策推進会議総会を次のとおり開催した。

期 日 : 平成26年12月4日(木)

場 所 : 新潟市 新潟県医師会館

参加者 : 61人

内 容 :

ア シンポジウム

「検診とレセプトデータから見た糖尿病対策の評価を考える」

演題1 「新潟県における糖尿病の現状と対策について」

新潟県福祉保健部健康対策課

健康食育推進係 技師(栄養士)

石 田 絵 美

成人保健係 技師(保健師)

笠 井 悠 矢

演題2 「健診から見た糖尿病対策を考える」

新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座

新潟県労働衛生医学協会

加 藤 公 則

演題3 「つながる うごかす 糖尿病対策」

全国健康保険協会新潟支部 企画総務部 保健グループ長

高 杉 玲 子

演題4 「健診・レセプトデータの分析・評価について

～ 保険事業のための集計業務からの一考察 ～

新潟県国民健康保険団体連合会 事業課 参事 小林 美奈子

座 長 上村医院 院長

新潟県糖尿病対策推進会議 理事 上村 伯人

イ 特別講演「科学的エビデンスに基づく糖尿病対策

－発症と合併症予防の両面から－

講 師 新潟大学大学院医歯学総合研究科

血液・内分泌・代謝内科学 教授 曾根 博仁

座 長 新潟県労働衛生医学協会 医師

新潟県糖尿病対策推進会議 副会長 佐藤 幸示

(3) 新潟県検診機関協議会

検診事業を実施する30団体で構成されている新潟県検診機関協議会の事務局を担当し、円滑な運営等について支援した。

平成26年6月6日(金) 定例総会	新潟県医師会館
7月1日(火) 第1回常任幹事会	〃
7月24日(木) 第2回常任幹事会	〃
9月25日(木) 第3回常任幹事会	〃
11月3日(月) 福祉・介護・健康フェア2014出展	朱鷺メッセ
11月19日(水) 第4回常任幹事会	新潟県医師会館
12月4日(木) 第2回中堅幹部職員養成研修会	新潟県健康づくりスポーツ医学センター
12月19日(金) 第5回常任幹事会	新潟県医師会館
平成27年2月6日(金) 第3回中堅幹部職員養成研修会	〃
2月24日(火) 第6回常任幹事会	〃
3月5日(木) 検診従事職員研修会	チサンホテル&コンファレンスセンター新潟
3月17日(火) 役員会	新潟県医師会館

9 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会(12地域)において肺がん検診の円滑な実施、運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

新潟県肺がん検討委員会

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授 青山 英史

委員 10人

地域肺がん検討委員会(12地域)

(設置地域) 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡・魚沼・南魚沼・十日町
柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成27年2月16日(月)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 委員の交代について
- (2) 平成25年度肺がん検診結果報告について
- (3) 平成24年度肺がん疫学調査・追跡調査について
- (4) 平成25年度地域肺がん検討委員会開催状況について

10 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会(5地域)において乳がん検診の円滑な実施、運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携を図った。

新潟県乳がん検討委員会

委 員 長 新潟県労働衛生医学協会

新潟プレスト検診センター所長 佐野 宗 明

委 員 15人

地域乳がん検討委員会(5地域)

(設置地域) 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成26年10月21日(火)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 平成25年度乳がん検診結果報告等について
- (2) 平成23年度検診結果から発見された乳がん疫学調査結果報告について
- (3) 平成25年度地域乳がん検討委員会の開催状況について

また、本委員会を活性化するため小委員会を設置し次のとおり小委員会を開催した。

委 員 長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信 昭

委 員 4人

期 日： 平成26年5月23日(金)、10月9日(木)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 乳がんセミナーの内容について
- (2) 検討委員会の活性化等について
- (3) 乳がん検討委員会の資料について

11 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施、運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

新潟県前立腺がん検討委員会

委 員 長 新潟南病院 小松原 秀一
委 員 10人

前立腺がん検討委員会を次のとおり開催した。

期 日： 平成26年12月 6 日(土)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 平成25年度前立腺がん検診結果等について
- (2) 平成26年度新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会における前立腺がん検診関係資料等について

Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業

1 生活習慣病予防普及啓発事業

(1) 生活習慣病予防事業功労者表彰

「公益財団法人新潟県健康づくり財団功労者表彰要領」に基づき、生活習慣病予防活動に功労のあった個人及び団体の表彰を行った。

期 日： 平成26年10月 3 日(金)

場 所： 上越市 リージョンプラザ上越

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

平成26年度は該当なし

イ 公益財団法人 新潟県健康づくり財団理事長表彰

個人 三 輪 浩 次 医 師

 青 木 悦 子 栄 養 士

 佐 藤 幸 一 医 師

 齋 藤 宣 雄 //

 石 川 眞一郎 //

鈴木孝明	〃
富所隆	〃
石田奈津子	保健師
池田英子	〃

団体 平成26年度は推薦なし

(2) 生活習慣病予防展開催

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上、健康づくりの実践定着を図る目的で関係機関と「生活習慣病予防展」を共催した。

期 日： 平成26年10月3日(金)

場 所： 上越市 リージョンプラザ上越

(3) 機関紙発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を3回発行し、市町村(公民館を含む)はじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

(4) 印刷物の作成頒布・健康教育資材等の提供

生活習慣病予防に関するパネル貸出等普及啓発に努めた。

なお、今年度新たに血管年齢及び脳年齢が測定可能な機器「らくらくウエルネス」を購入し、健康教育資材等の充実を図った。

- ・パネル、学習教材等の貸出し
- ・乳がん病巣モデル等の貸出し

(5) 健康教育の支援

市町村、関係団体主催の健康教育に関する研修会・講演会等に講師の紹介、派遣を行う等支援協力を行った。

(6) 広報活動

ア 新聞広告等

9月と11月に新潟日報朝刊にがん征圧新潟県大会の開催案内及び講演録を掲載し、がん予防の普及啓発を行った。

イ ラジオ番組等

4月から9月まで毎月1回、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的としてBSNラジオ番組「ゆうWAVE」内で「カラダのこと話し隊！」(1回約7分間)を放送した。

また、同期間にBSNラジオで特定健診及びがん検診の受診勧奨のメッセージ(1回約1分間)をインフォーマーシャルとして6回放送した。

ウ イベント出展

8月30日(土)、31日(日)に日本テレビ系列の24時間テレビにおいてチャリティイベントブースを出展し、幅広い年齢層に対し生活習慣病予防の重要性等について啓発を行った。

また、3月29日(日)に開催された「元気にいがた健康フォーラム」においてブースを出展し、フォーラム参加者に血管年齢測定及び体脂肪測定を行い、生活習慣病に関する啓発を行った。

(7) がん教育の実施【新規事業】

中学生に対し、がんに関する基礎知識や検診の重要性について普及啓発を行うため次のとおりがん教育(“いのち”についての講演会)を実施した。

期 日： 平成26年7月17日(木)

場 所： 新潟市立東石山中学校

出席生徒数： 158人

内 容： がんと放射線治療

講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科放射線医学 教授 青山 英史

2 脳卒中情報システム事業

県の委託により、医療機関からの退院時情報提供及び脳卒中発症調査票並びに市町村からの脳卒中調査票を収集し、審査・集計・解析した。報告書を作成し関係機関に配付した。

また、本事業の活性化のための意見交換会を前年度に引き続き3回開催し、意見をとりまとめ、結果を新潟県へ意見具申した。

退院時情報提供受理件数	792件	提出医療機関数	9施設
脳卒中調査票受理件数	613件	提出市町村数	17市町村
脳卒中発症調査受理件数	727件	提出医療機関数	62施設

IV (公財)日本対がん協会との連携事業

1 がん予防普及事業

(公財)新潟県健康づくり財団 がん征圧維持会員募集状況

維持会員募集の実績は次のとおりである。

・ 法人会員	自治体会員	30市町村	1,260,000円
	医師会会員	16団体	410,000円
	検診団体会員	30団体	300,000円
	一般法人会員	62団体	634,000円
・ 個人会員		77人	286,000円
	(合 計)		2,890,000円)

2 広報活動

(1) ポスター・リーフレットの配布 (部数)

ポスター「がん征圧月間」	338枚
ポスター「禁煙推進」	338枚
リーフレット「がん検診」	1,000部
リーフレット「乳がんのセルフチェック」	1,000部

(2) 日本対がん協会報の配付

毎月（増刊号含む）170部を維持会員等に配付した。

3 第31回がん征圧新潟県大会

県民に「がんに対する正しい知識の普及」を図り、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性をPRし、がん撲滅の誓いを新たにするため関係機関の協力のもと次のとおり開催した。

期 日： 平成26年10月3日(金)

場 所： 上越市 リージョンプラザ上越

参加者： 320人

内 容：

(1) 式 典

(2) 報告「上越市におけるがん検診の受診率向上に向けた取組」

報告者 上越市健康づくり推進課長 見 波 正 美

(3) 講演「大切にしたい自分の体 -2度の子宮がんを経験して-」

講 師 よつばの会代表・女優・タレント 原 千 晶

(4) 特別講演「子宮頸がん -予防・診断・治療の新時代-」

講 師 新潟大学大学院医歯学総合研究科産科婦人科学教授

榎 本 隆 之

座 長 新潟県健康づくり財団副理事長 吉 沢 浩 志

(5) ミニコンサート 横 山 令 奈・榎 本 隆 之

4 乳がん予防講演会の開催

乳房自己触診の方法をはじめ乳がんに関する正しい知識の普及と乳がん検診の重要性を地域住民に啓発することを目的として、津南町と共催で次のとおり開催した。

期 日： 平成26年8月5日(火)

場 所： 津南町商工会館

参加者： 70人

内 容：

(1) 報告「津南町における乳がん検診における状況等について」

報告者 津南町福祉保健課保健師 齋 木 彩

(2) 講演「乳がんでも元気に生きる」

講 師 あげぼの会新潟支部長 内 藤 桂 子

(3) 特別講演「もっと知りたい乳がんのこと」

講 師 新潟大学医歯学総合病院腫瘍センター特任助教 長谷川 美 樹

5 がん対策諸会議等出席

がん対策を推進するため会議等へ役職員が出席した。

(1) 日本対がん協会全国事務局長会議 東京都 平成26年6月30日

(2) がん征圧全国大会 福岡県 平成26年9月4、5日

(3) 5府県事務局長会議 静岡県 平成26年10月17日

(4) 日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会 栃木県 平成26年11月14日

6 無料クーポン券の配布

日本対がん協会発行の子宮頸がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診の無料ペアクーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の受診促進を図った。

V 研究研修事業

1 細胞検査士研修会の開催

肺がん検診、子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的とし県の委託により研修会を次のとおり開催した。

期 日： 平成26年7月4日(金)、5日(土)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

参加者： 88人

内 容：

(1) 鏡検 「子宮内膜増殖症と類内膜腺癌 ー組織学的分化度の診断ー」

(2) スライドセミナー

症例検討「子宮内膜増殖症と類内膜腺癌 ー組織学的分化度の診断ー」

座 長 新潟県立がんセンター新潟病院婦人科部長 笹 川 基

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院婦人科部長 菊 池 朗

厚生連長岡中央総合病院産婦人科部長 加 勢 宏 明

済生会三条病院産婦人科医長 野 田 誠 子

新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター産婦人科助教 安 達 聡 介

2 乳がん検診セミナー

本県の乳がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

期 日： 平成26年12月5日(金)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

参加者： 75人

内 容：

(1) 特別講演「がん検診の利益と不利益 - 乳がん検診を中心に -」

講 師 岩手県立中央病院乳腺・内分泌外科科長 大 貫 幸 二
座 長 新潟県立がんセンター新潟病院長 佐 藤 信 昭

(2) パネルディスカッション「地域性を考慮した乳がん検診の精度管理について」

座 長 新潟県乳がん検討委員会委員長 佐 野 宗 明
新潟市民病院乳腺外科部長 牧 野 春 彦

パネリスト

新潟県立新発田病院外科医長 池 田 義 之
厚生連柏崎総合医療センター外科部長 植 木 匡
齋藤記念病院外科医長 鬼 頭 隆 尚
新潟市民病院乳腺外科副部長 坂 田 英 子

3 胃がん検診セミナー

本県の胃がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

期 日： 平成27年3月9日(月)

場 所： 新潟市 新潟県医師会館

参加者： 85人

内 容

(1) 基調講演

「バリウムによる有害事象 - 誤嚥を中心に -」

講 師 新潟県保健衛生センター検診センター長 椎 名 真

(2) シンポジウム

「胃がん検診におけるバリウムによる有害事象とその対策」

司 会
新潟県保健衛生センター検診センター長 椎 名 真

シンポジスト

十日町市健康支援課主任保健師 根 津 君 加
三条市健康づくり課副参事兼健診係長 麦 倉 静 子

新潟県保健衛生センター診療放射線技師	大久保 沙奈絵
下越総合健康開発センター診療放射線技師	進 藤 太 一
新潟県労働衛生医学協会診療放射線技師	新 田 左知子

追加発言

新潟市保健所健康増進課主査	八木沢 真知子
---------------	---------

(3) 日本対がん協会賞受賞記念講演

「がん検診の有効性 ―胃がん検診を中心に―」

講 師	新潟県立がんセンター新潟病院参与	小 越 和 栄
座 長	新潟県保健衛生センター検診センター長	椎 名 真

4 検診従事職員研修

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共催で次のとおり開催した。

期 日： 平成27年3月5日(木)

場 所： チサンホテル&コンファレンスセンター新潟

参加者：	合同研修会	65人
	第一分科会 特定健康診査部門	66人
	第二分科会 診療放射線部門	65人
	第三分科会 細胞検査部門	13人
	計	209人

(実人員 143人)

内 容：

(1) 合同研修会

講 演 「運動器の年齢変化ーロコモティブシンドロームの病態とその対応」

講 師 新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科教授 大 森 豪

(2) 分科会

ア 第一分科会 特定健康診査部門

シンポジウム「当施設における特定健診・特定保健指導等の円滑実施に向けた取組について」

座 長 下越総合健康開発センター集団検診課長 池 田 久 志

演 者 柏崎メジカルセンター業務一課主任 室 賀 美紀子

新潟県健康管理協会健診普及部 平 松 純 也

健康医学予防協会健診部巡回健診課主任 佐 藤 友 紀

(医)恒仁会新潟南病院管理栄養士 金 川 絵 美

講 演 「ストレスをこなす ―働き、学び、暮らしのなかで―」

講 師 新潟医療福祉大学医療技術学部作業療法学科准教授 渡 邊 良 弘

座 長 下越総合健康開発センター集団検診課長 池 田 久 志

イ 第二分科会 診療放射線部門

講演1 「乳腺エコーの基礎 —装置、検査の実際、正常解剖等—」

講師 新潟県労働衛生医学協会新潟プレスト検診センター係長 小柳敬子
座長 厚生連柏崎総合医療センター主任診療放射線技師 五十嵐一美

講演2 「乳腺エコーの診断—『乳腺超音波診断ガイドライン』に沿った超音波診断とカテゴリー分類—」

講師 厚生連柏崎総合医療センター臨床検査技師 内山浩美
座長 厚生連柏崎総合医療センター主任診療放射線技師 五十嵐一美

講演3 「乳がん検診の精度を管理する“頭”と“筋肉”」

講師 新潟県労働衛生医学協会新潟プレスト検診センター所長 佐野宗明
座長 新潟県立がんセンター新潟病院主任診療放射線技師 三沢智志

症例報告 「平成25年度下越総合健康開発センター発見肺がん」

報告者 下越総合健康開発センター診療放射線技師 原田大輔
座長 厚生連新潟医療センター主任 大橋利弘

シンポジウム 「技師チェックの向上を目指して(現状と課題)」

座長 厚生連新潟医療センター主任 大橋利弘
演者 済生会三条病院放射線科主任 中村康昭
健康医学予防協会健診部係長 矢代茂己
済生会新潟第二病院放射線科副技師長 小林功
柏崎メジカルセンター診療放射線技師 田中香代
新潟医療生活協同組合木戸病院健診センター事務長 山田勉

ウ 第三分科会 細胞検査部門

シンポジウム 「子宮頸がんにおける腺系異型細胞の判定について」

座長 新潟県保健衛生センター保健部副部長 井上博子
助言 厚生連長岡中央総合病院産婦人科部長 加勢宏明
演者 上越地域総合健康管理センター検査課係長 江村敦子
下越総合健康開発センター病理・細胞診検査課主任 板垣由香里
厚生連長岡中央総合病院病理部 渡邊裕美
新潟県保健衛生センター検査課2係長 阿部美香

講演 「子宮頸部腺系病変の診断」

講師 厚生連長岡中央総合病院産婦人科部長 加勢宏明
座長 新潟県保健衛生センター保健部副部長 井上博子

[収益事業等]

I 健康情報管理事業

1 特定健診結果電子化代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託した。

() 内は平成25年度実績

特定健診結果電子化代行処理業務	84,955件	(84,195件)
-----------------	---------	-----------

2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

健診実施機関、保険者が特定健診受診者へ渡す個人結果通知書について、特定健診結果データを利用して作成し、健診実施機関、保険者に送付した。

() 内は平成25年度実績

特定健診個人結果通知書作成業務	2,045件	(2,090件)
特定健診結果還元データ作成業務	2件	(2件)